

拓殖大学 vs 神奈川大学

10月13日(日)
11:30K.O.
法大G

11位に順位を落としてしまった拓大と、7位の神大との対戦。どちらも攻撃的なサッカーを展開しており、そのぶつかり合いが見ものである。

拓大は前節、駒大と対戦して1-2で敗れた。先制点を奪い、さらに後半は相手に退場者が出るという試合展開だったが、セットプレーで逆転を許しての敗戦。PKのチャンスもあっただけに、ショックの残る負け方であった。試合内容では前半も主導権を握って攻撃を仕掛けたが、27分に先制したものの後半開始直後の46分に許した失点が痛かった。さらに、攻めながらまたも1得点にとどまり、一人少ない駒大に最も警戒すべきセットプレーから逆転されてしまった。「駒大のような上位のチームに、それほど悪い戦いをしているわけではない。ただチャンスをしっかり得点につなげられなかった」(玉井朗監督)。課題は決定力。勝利にこだわっていききたい。

対する神大は前節、首位の東国大と対戦して2-2の引き分けに終わった。立ち上がりから激しい点の取り合いとなったその試合は、4分に先制を許したが6分に同点に。また22分に勝ち越しを許すが、44分に再び追いつくという展開。後半は神大が押し込んだものの、前半

とは対照的に両チームとも無得点に終わった。失点は2点ともセットプレーだっただけに、「注意していたが徹底し切れなかった。もったいなかった」(高峯樹監監督)。ただ、流れの中からの失点がなかったのは前線からの厳しいチェックが機能したということ。前半戦で大量点を喫した拓大に雪辱したい。

<出場停止>なし / 3回警告: 秋山真太郎・杉山祐亮(神大)

<前回の対戦>拓大5-2神大

拓大		神大	
26. 小針	7. 長野	15. 湯澤	5. 杉山
18. 大森	29. 野路	28. 武田	21. 池村
31. 高橋	11. 内野	16. 前田	4. 向山
7. 川崎	10. 伊東	4. 向山	8. 須郷
1. 大坪	19. 菅能	22. 伏木	
4. 金子	14. 菅原		
2. 三浦	15. 唐澤		

東京農業大学 vs 法政大学

10月13日(日)
13:50K.O.
法大G

連勝の止まってしまった東農大と、2試合連続引き分け中の法大との対戦。お互いに負けられない大事な試合だが、どちらもやや調子が下降気味。持ち直すのはどちらか。

東農大は前節、関学大と対戦して0-1で敗れた。お互いに上位を目指す中で重要な試合であり、立ち上がりから激しい攻防が繰り広げられたが、攻守の切り替えの速さで徐々に関学大に先手を取られた。前半は耐えて無失点に抑えたが、スタミナが落ちた後半、76分に決勝点を許してしまった。マークが厳しかった前線の選手を交代し、ボール支配率がやや高まったかと思われた矢先の失点。結果的に今季初の無得点に終わった。「残り15分の勝負どころでやられた。4連勝なんて近年なかったチームで自信にはなっていたと思うが、いい意味でまた引き締めていきたい」(秋吉保浩監督)。昇格争いに食らいついていけるか、真価が問われるところだ。

対する法大は前節、東学大と1-1で引き分けた。後半ロスタイムに追い付き、勝点1をもぎ取ったと言えるが、試合内容を見れば終始、東学大にボール支配を許す苦しい展開。最近2試合で10得点を奪ってきた攻撃力は影をひそめ、なかなかボールをゴール前まで運べな

った。「ミスが続く。もっと一人ひとりが自信を持ってボールをさばなくては」(大石和孝監督)。押されながらも失点はセットプレーの1点に抑えたことが勝点1につながったが、ここ数試合は終盤での得点も多い。攻守とも粘りが出てきたのは光明か。

<出場停止>なし / 3回警告: 村山翔・櫻岡徹也・加藤聖哉(東農大)、田代雅也・西室隆規・森保翔平・星雄次(法大)

<前回の対戦>東農大1-0法大

東農大		法大	
27. 加藤	17. 森保	24. 白石	2. 宗近
19. 岡庭	14. 松本	5. 岩淵	1. 四宮
5. 櫻岡	6. 中垣内	6. 星	27. 田代
30. 矢口	14. 石川	15. 高橋	16. 松田
10. 浜田	11. 井上	30. 永戸	
3. 田村	18. 今野		
23. 中西			

* 予想布陣は直近の試合を参考に作成しています *

JR 東日本カップ 2013 第 87 回 関東大学サッカーリーグ戦

if OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM
Division2 2013-NO.16
編集: 五味亜矢子 発行: 関東大学サッカー連盟 協力: 関東大学サッカーサポーターズクラブ



東農大連勝ストップ、青学大3位浮上!

JR 東日本カップ 2013 第 87 回 関東大学サッカーリーグ戦 2 部リーグは第 15 節を終了し、各チームとも残りは 7 試合、リーグ戦はそろそろ終盤戦へと差し掛かってきた。相変わらず首位の東国大と 2 位の駒大がリードしているが、上位 2 校の昇格争いへの挑戦権争いに動きがあった。東海大を 2-0 で下して 3 連勝を飾った青学大が 3 位に浮上。3 位の東農大は 5 位の関学大に 0-1 で敗れて一歩後退、関学大は昇格圏まで勝点 7 差で踏みとどまったが、法大と 1-1 で引き分けた 6 位・東学大は 2 位との勝点差が 10 に開き、追い上げに黄色信号が灯った。なお、東国大は神大と 2-2 で引き分け、駒大は拓大を 2-1 で下したため、首位と 2 位との差は再び勝点 1 差に縮まった。また、下位では朝鮮大が平国大を 2-0 で破り 11 位から 9 位に浮上。

得点ランキング		アシストラランキング	
10: 小牟田洋佑 (駒大)	7: 佐伯 拓磨 (東国大)	5: 田中 雄一 (駒大)	4: 山本 真也 (関学大)
9: 伊東 純也 (神大)	5: 田中 雄一 (駒大)	4: 山本 真也 (関学大)	
8: 山本 大貴 (駒大)	4: 山本 真也 (関学大)		
関谷 祐 (青学大)			
富樫 敬真 (関学大)			
7: 後藤 拓斗 (青学大)			
6: 全 3 名			

残留争いも少ない勝点差での争いが続いており、1 節も目が離せない戦況だ。どこが昇格圏を射程に捉えるか、どこが降格圏を脱するか、今節も注目の対戦が続く!

JR 東日本カップ 2013 第 87 回 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

(第 15 節終了時)

順位	2部	東国大	駒大	青学大	東農大	関学大	東学大	神大	法大	朝鮮大	平国大	拓大	東海大	勝数	負数	分点	得点	失点	得失差	勝点
1	東国大		100	302	102	401	201	100	400	201	101	301	300 (没収)	10	2	32	17	15	33	
2	駒大	001		401	302	200	402	401	200	102	304	200	401	10	3	27	20	17	32	
3	青学大	203	104		101	000	100	201	401	102	000	100	201	8	4	24	16	8	27	
4	東農大	201	203	101		300	102	103	100	101	103	200	300 (没収)	8	5	25	18	7	26	
5	関学大	104	002	000	003		400	002	201	400	300	201	300 (没収)	8	6	27	20	7	25	
6	東学大	102	204	001	201	004		302	001	200	301	201	201	6	5	20	21	-1	22	
7	神大	001	104	102	301	200	203		102	201	301	205	102	6	8	28	29	-1	19	
8	法大	202	法大G	102	三ツ沢	302	古河			11/9	401	11/23	10/13	5	7	25	27	-2	18	
9	朝鮮大	004	002	104	001	102	100	201			001	102	402	5	7	25	27	-2	18	
10	平国大	102	201	201	101	004	002	102	100		001	001	401	5	8	16	23	-7	17	
11	拓大	101	403	000	301	003	103	103	100		002	302	203	4	7	19	31	-12	16	
12	東海大	103	002	001	002	102	102	502	201	100	203	301	301	4	9	19	24	-6	14	
		003 (没収)	104	102	003 (没収)	003 (没収)	003 (没収)	102	201	204	104	302	103	2	12	13	39	-26	7	

※ 東海大は後半戦終了時点で勝点-6となります

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント
ゴールは、自分の中にある。
部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」
<http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/>
RECRUIT

駒澤大学 vs 朝鮮大学校

10月13日(日)
11:30K.O.
東国大 G

2位の駒大と9位の朝鮮大との対戦だが、後半戦初戦で対戦して朝鮮大が勝利している。5試合ぶりに勝利を収めた朝鮮大が再び金星を挙げられるか。

駒大は前節、拓大に2-1で逆転勝利を収めた。その前の試合で4失点してただけに守備面は課題だったはずだが、ケガ人などの影響で変わったメンバーでなかなか思うようにボールを運べず、逆に拓大にボール支配を許して27分に失点。後半開始直後に同点としてペースを取り戻すかと思われたが、53分に退場者を出してしまい再び守備の時間が長くなってしまった。しかし、そんな中で得たセットプレーのチャンスを83分に生かし、1人少ないながらも逆転に成功した。拓大の攻撃に対し、久々の出場となったGK大石健太(4年)がPKストップを含む好守を見せた。「失点はマークの確認ができていなかった。粘り強くは戦えたと思う」(秋田浩一監督)。前回敗れた相手に雪辱できるか。

その朝鮮大は前節、平国大に2-0と快勝、久々の白星を挙げた。前線の2トップをメンバー交代し、積極的に仕掛けてリズムをつかんだ。球際の争いは激しかったが、32分、相手ボールを奪ったショートカウンターから先制。その後も一進一退の攻防の中、86分にセット

プレーから決定的な2点目を奪った。4試合勝利がなかっただけに、尹明進コーチは「勝ち切ることにこだわったので、勝てたことが第一」と話した。常に課題としてきた攻撃の部分についても「練習でやってきた良い形が出てきた」(尹コーチ)と感触をつかんだよう。駒大を相手に、その攻撃を再現できるかどうか。

<出場停止>大木暁(駒大) / 3回警告: 碓井鉄平・キム デセン・伊藤慎人(駒大)

<前回の対戦>駒大1-2朝鮮大

駒大	朝鮮大
3. 田中	22. 慎鏞紀
30. 吉岡	7. 尹昌洙
4. 平尾	14. 朴利基
7. 碓井	3. 李教俊
1. 大石	6. 任良太
33. 糸井	28. 金成大
20. 立石	
6. 若山	21. 康貴成
5. 伊藤	20. 金慎也
11. 小牧	4. 許亮
2. 友廣	17. 高志煌
	24. 鄭壯輝

青山学院大学 vs 東京学芸大学

10月13日(日)
11:30K.O.
東海大 G

3連勝の青学大と、負けないものなかなか勝てない東学大との対戦。3位に浮上した青学大が昇格争いへの名乗りを上げるのか、東学大が意地を見せて上位に食らいつくか、注目だ。

青学大は前節、東海大に2-0で勝利した。スコアを見れば快勝だが、内容は苦しい前半を耐えて勝ち取った勝利であった。東海大の積極的な攻撃を受けた前半は、マークを徹底できず防戦一方。しかし、相手のミスにも助けられて無失点に抑えると、58分にPKのチャンスを獲得して先制に成功。試合の流れを引き寄せると、さらに65分にも追加点を奪った。宮崎純一監督は、「この数試合、悪い時間帯をどう乗り切っていくかという、チームとしてやるべきことがはっきり実践できている」と話すように、この日は前半を耐えたことが勝因。しかし、「相手に攻撃の準備をする時間を与えないようにする」(宮崎監督)という課題も。東学大に決定的な仕事をさせない守備ができるかどうか。

その東学大は、またも勝てない負のサイクルに巻き込まれている。前節は法大と1-1で引き分け、これで4試合連続のドロウ。試合内容は徐々に向上しており、法大に対しては終始、主導権を握る試合展開となった。西

園聡史監督も「今季の中でも特に良かった」という試合への入り方だったが、やはり決定力の部分が相変わらずの課題。58分によくセットプレーから先制したが、後半ロスタイムで追い付かれた。それでも「試合内容は大幅に良くなっている。その波をどれだけ次に生かせるか」(西園監督)。上位に食らいつくには需要な一戦だ。

<出場停止>なし / 3回警告: 京谷季樹・水島雅之(青学大)、五十嵐亘(東学大)

<前回の対戦>青学大1-0東学大

青学大	東学大
20. 服部	5. 廣木
16. 恵	18. 五十嵐
5. 京谷	11. 遠藤
10. 木澤	4. 脇本
12. 高橋	10. 茶島
6. 高山	15. 菅
8. 後藤	13. 中村
18. 関谷	3. 成田
15. 水島	8. 佐々木
7. 荒木	25. 富澤
3. 早田	12. 須賀

東京国際大学 vs 平成国際大学

10月13日(日)
13:50K.O.
東国大 G

首位の東国大と、10位に後退してしまった平国大との対戦。平国大は今季の東国大の連勝を止めたが、今節は2人の出場停止者を抱える。首位チームから再び勝点を奪えるか。

東国大は前節、神大と激しい点の取り合いの末、2-2で引き分けた。試合開始4分で先制したが6分に同点を許し、22分に再び勝ち越すも44分に失点。取られた直後、そして終了間際という、点の取られ方が悪かった。一方で、後半はやや押され気味の展開を無失点で切り抜けた。それでも、前田秀樹監督は「失点の少なさが売りだったが、ここ最近失点が多い。守備が簡単にやられ過ぎた」と課題を挙げた。2点ともセットプレーからの得点で強さは見せたが、神大の激しいチェックの前に攻撃は抑えられた。2度目の対戦になり、相手も東国大の特徴を研究してくる。平国大とはお互いを知り尽くした相手だけに、意地のぶつかり合いとなりそうだ。

その平国大は前節、朝鮮大に0-2で敗れた。32分にパスカットからドリブル突破を許して失点、そして86分にセットプレーからダメ押し点を許した。これで4試合勝利がないことになる。ここ3試合で10失点と失点が増えているのが気になるが、攻撃が単発に終わっ

ているのも不振の要因。この日も、形はつくるものの結果的にはシュート1本。「押し込んだ状態で攻撃し続けないと、いやらしさは出てこない」(西川誠太監督)。攻撃のあとのリスクマネジメントにも、西川監督は課題を挙げた。今節は、最終ラインを支えてきたDF小松崎雄太(1年)が出場停止。全員でカバーしたい。

<出場停止>小松崎雄太・堀越逸貴(平国大) / 3回警告: なし

<前回の対戦>東国大1-1平国大

東国大	平国大
22. 新地	11. 千葉
17. 小玉	34. 佐藤
5. 川島	14. 福嶋
9. 福島	6. 本田
10. 若井	10. 堀越
21. 今野	9. 星子
13. 佐伯	30. 馬屋原
3. 阿部	5. 鎌田
4. 加藤	2. 須藤
11. 高橋	8. 横瀬
2. 伊東	16. 増田

関東学院大学 vs 東海大学

10月13日(日)
13:50K.O.
東海大 G

5位の関学大と最下位の東海大との対戦。実質的には今季初の対戦となるだけに、関学大も気は抜けない。東海大は悲願の後半戦初勝利がほしい。

関学大は前節、3位の東農大と対戦して1-0で勝利した。「上位進出へのラストチャンス」と位置付けて臨んだ重要な試合は、立ち上がりから激しい攻防となったが、徐々にセカンドボールを支配した関学大がリズムをつかんだ。前半は奪ったボールをなかなかシュートまで持ち込むことができなかったが、後半になるとしつこくサイドからの攻撃を繰り返し、ついに76分、待望の得点を奪った。「どれだけサイドの攻防を取れるかがポイントだった」と石村大監督。そして残り約15分も、守りに入ることなく同じリズムで攻め続けて勝利につなげた。「泥臭く勝ち切るというところに欠けていたチームなので、今までにない勝ち方」(石村監督)。もう一度上位を追っていきけるかどうか。

対する東海大は前節、青学大と対戦して0-2で敗れた。これで3連敗、後半戦に入って1分5敗と勝利が遠いが、青学大戦は前半、積極的にボールを動かして青学大ゴールに迫り、相手を防戦一方に追い込んだ。しかし、決定的な得点につなげることができず無得点のまま

折り返すと、GKの流れから不運なPKを与えて失点。すると徐々にミスが多くなり、65分にも追加点を与えてしまった。「準備したことはできたが、駆け引きで混沌としたときに相手に取られてしまう。試合の流れの中でどちらに転ぶかわからないところで、意識を張ってプレーできるかどうか」(後藤太郎監督)。1対1の局面での争いで優位に立つところから、勝機は開ける。

<出場停止>なし / 3回警告: 土館賢人(関学大)

<前回の対戦>関学大3-0東海大(没収試合)

関学大	東海大
6. 木村	4. 水野
13. 吉田	27. 北原
4. 久保	5. 元田
11. 萱沼	24. 羽毛
1. 守山	34. 吉田
7. 太田	19. 永吉
3. 土館	9. 桑原
27. 原島	2. 太田代
9. 富樫	7. 水橋
8. 山本	26. 小野
5. 山口	29. 内山